

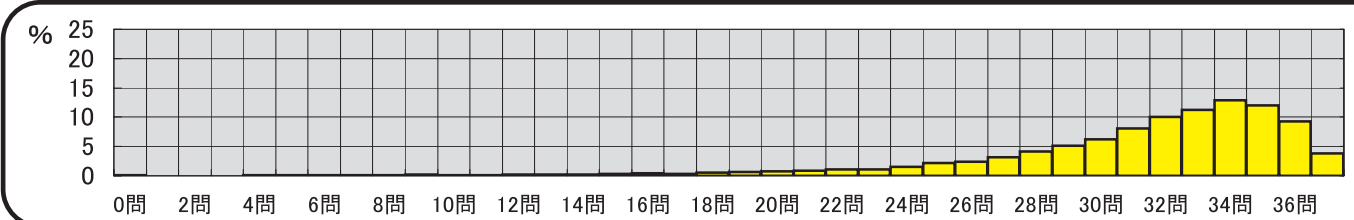
平成19年度

全国学力・学習状況調査 さいたま市全体の調査結果【中学校】

国語A

「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」、「言語」について、必要な学習内容を理解し、確実に身に付けているかどうかをみる基礎的・基本的な問題

1 さいたま市の正答数分布（正答数ごとの生徒の割合）



2 さいたま市の設問ごとの正答率等

問題番号	問題の内容	聞くこと	話すこと	書くこと	読むこと	言語事項	問題形式	市全体の正答率 (%)
1	一 聞き手を意識して、スピーチの時に使用する語句を書き換える	★					短答	88.3
	二 話し手の意図を理解し、スピーチの内容にふさわしい題名を選ぶ	★					選択	90.0
2	一 手紙の書き方としてふさわしいもの			★			選択	87.6
	二 手紙の書き出しの語			★			選択	82.1
	三 手紙の後付け			★			選択	52.8
3	一 文学的文章の中の自然描写を的確に読み取り、適切な説明を選ぶ				★		選択	74.8
	二 比喩等の表現技法に注意して内容をとらえ、適切な説明を選ぶ				★		選択	75.4
4	一 表現の仕方や特徴に注意して、詩の韻律(リズム)についての適切な説明を選ぶ				★		選択	80.2
	二① 歴史的かなづかいを現代かなづかいにかえる				★		短答	92.8
	二② に直す				★		短答	76.9
	三 語句の意味に注意しながら、歴史的かなづかいで書かれた内容を読み取る				★		選択	92.6
5	一 伝える必要のある内容を簡潔なメモにまとめる	★					短答	95.7
	二 相手の話に不足している情報に気づき、適切に質問する	★					短答	98.2
	三 インタビューの目的に沿って質問を考え、質問しなくてもよいものを選ぶ	★					短答	92.0
6	一 インタビューの目的に沿って質問を考え、質問しなくてもよいものを選ぶ	★					短答	91.2
	二 効果的なインタビューの仕方を理解し、改善点として適切なものを選ぶ	★					短答	93.7
7	一 グラフから情報を読み取り、結論につながるように文章を書く			★			記述	80.4
8	一 文脈に即して漢字を正しく書く					★	短答	74.6
	二 文脈に即して漢字を正しく読む					★	短答	68.2
	三 文脈に即して漢字を正しく読む					★	短答	67.6
	四 文脈に即して漢字を正しく読む					★	短答	66.8
	五 文脈に即して漢字を正しく読む					★	短答	84.5
	六 文脈に即して漢字を正しく読む					★	短答	40.1
	七 文脈に即して漢字を正しく読む					★	短答	75.3
	八 文脈に即して漢字を正しく読む					★	短答	90.8
	九 文脈に即して漢字を正しく読む					★	短答	98.2
	十 文脈に即して漢字を正しく読む					★	短答	91.2
	十一 文脈に即して漢字を正しく読む					★	短答	96.7
	十二 文脈に即して漢字を正しく読む					★	短答	89.1
	十三 文脈に即して漢字を正しく読む					★	短答	92.7
	十四 文脈に即して漢字を正しく読む					★	短答	77.2
	十五 文脈に即して漢字を正しく読む					★	短答	85.7
	十六 文脈に即して漢字を正しく読む					★	短答	92.5
	十七 文脈に即して漢字を正しく読む					★	短答	93.8
	十八 文脈に即して漢字を正しく読む					★	短答	91.2
	十九 文脈に即して漢字を正しく読む					★	短答	93.7
	二十 文脈に即して漢字を正しく読む					★	短答	88.3

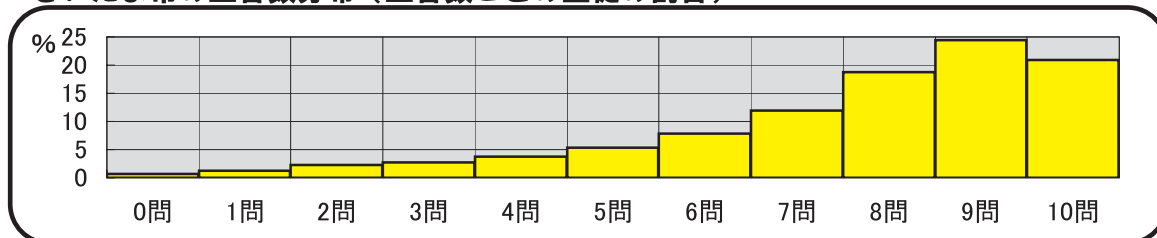
3 国の調査結果から分かるさいたま市の状況

- さいたま市全体の平均正答率は83.8%であり、国の平均正答率81.6%を上回っています。
- ◇話すこと・聞くこと…「話すこと・聞くこと」に係る8問の平均正答率は、91.2%の正答率でしたが、効果的なインタビューの仕方についての問題【6二】は80.4%の正答率であり、国の正答率を下回っています。
- ◇書くこと…「書くこと」に係る4問の平均正答率は、74.3%の正答率でしたが、手紙文における後付けの書き方の問題【2三】は、52.8%で、国の平均正答率を下回っています。
- ◇読むこと…「読むこと」に係る7問の平均正答率は、83.6%の正答率でしたが、文脈の中で自然描写を的確に読み取る問題【3一】は、74.8%の正答率でした。
- ◇言語事項…「言語事項」に係る18問の平均正答率は、82.8%の正答率でしたが、文脈に即して漢字を正しく読むことについては、正答率が40.1%の問題【8二2】がありました。また、行書の書き方の問題【8四】は、77.2%の正答率でした。

国語B

授業で学習した内容を、学校や日常生活のさまざまな場面で実践的に使うことができるか、また、文章や図などを基に、自分の立場を明らかにし、考えを分かりやすく書く力などをみる問題

1 さいたま市の正答数分布（正答数ごとの生徒の割合）



2 さいたま市の設問ごとの正答率等

問題番号	問題の内容	聞くこと	話すこと	書くこと	読むこと	言語事項	問題形式	市全体の正答率 (%)
1	— 発表する内容に応じて、話題を具体化する適切な資料（ロボットの写真と説明）を提示する	★					選択	84.2
	二 発表に必要な情報を収集し、表現（ロボットについての説明）に生かす				★		選択	94.8
	三 具体的な情報や根拠を基に、自分の考えが相手に伝わるように、人間とロボットとの未来社会について自分の考えを書く			★	★		記述	79.1
2	— 文学作品（蜘蛛の糸）を読んで、作品の内容や表現上の特徴をとらえる				★		選択	85.8
	二 アイ 文学作品（蜘蛛の糸）の展開や登場人物の心情の変化に着目して、朗読するための適切な工夫をする				★	★	選択	75.4
	三 文学作品（蜘蛛の糸）の内容や構成、表現上の特色を踏まえ、作品の構成に関して自分の考えを書く			★	★		記述	80.2
3	— 表現の仕方の特徴をとらえ、本の広告カードについての会話文から広告カードを特定する				★		選択	79.2
	二 (1) 本の広告カードを比較して、共通して書かれている情報を読み取る				★		短答	78.7
	二 (2)				★		短答	60.2
	三 視点の異なる二種類の広告カードを比較して、伝えたい事柄や考えの違いを説明する			★	★		記述	48.5

3 国の調査結果から分かるさいたま市の状況

- さいたま市全体の平均正答率は77.0%であり、国の平均正答率72.0%を上回っています。
- ◇話すこと・聞くこと…発表する内容に応じて、適切な資料を提示する問題【1一】は、84.2%の正答率でした。
- ◇書くこと…情報を基に、根拠を明らかにしながら自分の考えを書く問題【1三】は、79.1%の正答率でしたが、視点の異なる二種類の資料に表れているものの見方や考え方をとらえて整理し、伝えたい事柄や自分の考えを明確にして書く問題【3三】は、48.5%の正答率でした。
- ◇読むこと…「読むこと」に関係する9問の平均正答率は75.8%でしたが、二種類の資料を比較しながら共通する情報を読み取る問題【3三】は、48.5%の正答率でした。
- ◇言語事項…文学作品を朗読する際、展開に応じて言葉の調子や間のとり方などを工夫する問題【2二】は、75.4%の正答率でした。